

【知 識 及 び 技 能】基礎的な知識を身に着け、数学的に表現や処理をする力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】知識を活用して、論理的に考察し、数学的に表現する力を身に付ける

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えを他者と共有することで改善、発展させる力を身に付ける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各内容についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理する技能を身に着けることができる。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に着けることができる。	自ら進んで数学を活用し、粘り強く課題に取り組むとともに、課題解決の過程を振り返って考察を深め、改善・発展させる態度が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「第4章 図形と計量」 【知識及び技能】 ・鋭角・鈍角に対する三角比の定義と意味を理解する。 三角比の相互関係や符号について理解し、正しく用いる力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比を使って、図形の長さや角度を求める課題を論理的に解決する力を育てる。 ・三角比の意味や解法の過程を、言葉・図・数式などで明確に表現できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筋道を立てて考えることの面白さや達成感を味わい、主体的に学ぶ姿勢を育てる。 ・仲間と考え方を共有しながら学ぶ活動を通して、他者の意見に耳を傾ける姿勢や協働する力を養う。	三角比 ・鋭角の三角比 ・鈍角の三角比	【知識及び技能】 ・鋭角・鈍角に対する三角比の定義と意味を理解しているか。 三角比の相互関係や符号について理解し、正しく用いる力を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比を使って、図形の長さや角度を求める課題を論理的に解決する力を持つことができるか。 ・三角比の意味や解法の過程を、言葉・図・数式などで明確に表現できる力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筋道を立てて考えることの面白さや達成感を味わい、主体的に学ぶ姿勢や協働する力を持つことができるか。 ・仲間と考え方を共有しながら学ぶ活動を通して、他者の意見に耳を傾ける姿勢や協働する力を持つことができるか。	○	○	○	4
	単元「第4章 図形と計量」 【知識及び技能】 ・鋭角の三角比を理解し、直角三角形をもとに値を求める技能を身に付ける。 ・三角比の相互関係や符号について理解し、正しく用いる力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比の値を使った問題解決において、自らの考えを数式・図・言葉で論理的に表現する力を身に付ける。 ・与えられた条件から、正弦定理・余弦定理のどちらを使うべきかを判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形や現実の場面において、三角比や三角形の性質を活用する面白さや有用性に気づき、数学に親しみを抱くことができる。 ・他者との対話を通じて、自分の考えを説明したり、他者の視点から新たな気づきを得ることができる。	三角比 ・正弦定理と余弦定理 ・図形の面積	【知識及び技能】 ・鋭角の三角比（の定義を理解し、直角三角形をもとに値を求める技能を身に付ける）。 ・三角比の相互関係や符号について理解し、正しく用いる力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比の値を使った問題解決において、自らの考えを数式・図・言葉で論理的に表現する力を身に付ける。 ・与えられた条件から、正弦定理・余弦定理のどちらを使うべきかを判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形や現実の場面において、三角比や三角形の性質を活用する面白さや有用性に気づき、数学に親しみを抱くことができる。 ・他者との対話を通じて、自分の考えを説明したり、他者の視点から新たな気づきを得ることができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元「第1章第1節 場合の数」 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な考え方を理解し、要素数を適切に数えられるようにする。 ・問題に応じて、樹形図・表・式など適切な表現を用いて、場合の数を求めることができる。	場合の数と確率 場合の数と確率 場合の数 ・集合の要素の個数	【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な考え方を理解し、要素数を適切に数えられるか。 ・問題に応じて、樹形図・表・式など適切な表現を使って、数え上げを行う技能を身に付けているか。				

2 学 期	ど適切な表現を使って、数え上げを行う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じて和の法則・積の法則のどちらを適用すべきかを判断し、筋道立てて解決できる力を育てる。 ・問題の条件や制約を的確に捉え、重複や漏れのないように要素を数える方法を考案する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活や社会の中にある「選び方」「並べ方」に関連する事象に興味を持ち、数学的に考える姿勢を育てる。 ・他者と話し合いながら多様な考え方に触れ、協働して問題に取り組もうとする意欲を養う。		【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じて和の法則・積の法則のどちらを適用すべきかを判断し、筋道立てて解決できる力を身につけているか。 ・問題の条件や制約を的確に捉え、重複や漏れのないように要素を数える方法を考案する力を身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活や社会の中にある「選び方」「並べ方」に関連する事象に興味を持ち、数学的に考える姿勢を持つことができているか。 ・他者と話し合いながら多様な考え方に触れ、協働して問題に取り組もうとする意欲を身につけているか。	○	○	○	10
	単元「第1章第1節 場合の数」 【知識及び技能】 ・順列と組合せの定義（順序を区別するか否か）を理解し、状況に応じて適切に使い分けられるようにする。 ・与えられた条件（同じものを含む順列、制約のある選び方など）に応じて、適切に数え上げを行う技能を育てる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題の背景や条件から、順列か組合せかを判断し、適切な解法を選択・実行する力を養う。 ・必要に応じて場合分けや補集合の考え方を用いながら、問題を論理的に分析・解決する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・順列や組合せの考え方が、日常の選び方・配置・暗号・統計的調査などに関係していることを理解し、数学への興味を深める。	場合の数と確率 ・和の法則、積の法則 ・順列、組み合わせ	【知識及び技能】 ・順列と組合せの定義（順序を区別するか否か）を理解し、状況に応じて適切に使い分けられるか。 ・与えられた条件に応じて、適切に数え上げを行う技能を育てる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題の背景や条件から、順列か組合せかを判断し、適切な解法を選択・実行する力を養う。 ・必要に応じて場合分けや補集合の考え方を用いながら、問題を論理的に分析・解決する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・順列や組合せの考え方が、日常の選び方・配置・暗号・統計的調査などに関係していることを理解し、数学への興味を深める。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元「第3節 確立とその基本性質」 【知識及び技能】 ・確率の定義を理解し、適切に用いて求める技能を身に付ける。 ・排反事象、余事象の意味を理解し、それぞれの確率の求め方を使いこなせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題文や図表から情報を読み取り、標本空間と事象の関係を的確に捉えて確率を論理的に求める力を育てる。 ・排反事象かどうかを判断し、加法定理を正しく使って複数の事象に関する確率を考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・確率の考え方が、日常生活や社会で役立つことを理解し、学びの意義を実感する。	場合の数と確率 ・事象と確率 ・確率の基本性質 ・排反事象の確率 ・余事象の確率	【知識及び技能】 ・確率の定義を理解し、適切に用いて求める技能を身につけているか。 ・排反事象、余事象の意味を理解し、それぞれの確率の求め方を使いこなせるか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題文や図表から情報を読み取り、標本空間と事象の関係を的確に捉えて確率を論理的に求める力を持つことができているか。 ・排反事象かどうかを判断し、加法定理を正しく使って複数の事象に関する確率を考える力を身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・確率の考え方が、日常生活や社会で役立つことを理解し、学びの意義を実感する。				13
	定期考査			○	○		1
	単元「第2章第1節 三角形の性質」 【知識及び技能】 ・点、直線、角の定義を理解し、図形の基本的性質を正確に理解でき	三角形の性質 ・直線と角 ・三角形の重心・外心・内心 ・チェバの定理とメネラウスの定理	【知識及び技能】 ・点、直線、角の定義を理解し、図形の基本的性質を正確に理解できるか。 ・同位角、錯角、対頂角などの角の関係を使って、図形の角度を求めることができるか。				

	る。 ・同位角、錯角、対頂角などの角の関係をを使って、図形の角度を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に応じて角の性質や直線の交差関係を活用して解法を構成することができる。 ・空間把握や図形の変換を通じて、構造を見抜く力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形の規則性に気付き、自ら探究しようとする態度を養う。 ・粘り強く図を描いて関係性を探る姿勢を身につける。		【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に応じて角の性質や直線の交差関係を活用して解法を構成することができる。 ・空間把握や図形の変換を通じて、構造を見抜く力を身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形の規則性に気付き、自ら探究しようとする態度を持つことができるか。 ・粘り強く図を描いて関係性を探る姿勢を身につけているか。				15
	定期考査			○	○		1
	単元「第2章第2節 円の性質」 【知識及び技能】 ・円周角の定理を用いて角の大きさを求めたり、図形の性質を判断したりできる。 ・円の性質と図形の長さの関係を結びつけて扱う力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円周角の性質をもとに、証明問題などにおいて論理的に思考・説明する力を育てる。 ・複雑な図形の中から性質を見出し、規則を探究する意欲を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら角の関係を発見しようとする姿勢や、失敗しても試行錯誤を続ける粘り強さを育む。	図形の性質 ・円周角の定理とその逆 ・円に内接する四角形 ・接線と弦のなす角 ・方べきの定理	【知識及び技能】 ・円周角の定理を用いて角の大きさを求めたり、図形の性質を判断したりできるか。 ・円の性質と図形の長さの関係を結びつけて扱う力を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円周角の性質をもとに、証明問題などにおいて論理的に思考・説明する力を身につけているか。 ・複雑な図形の中から性質を見出し、規則を探究する意欲を持つことができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら角の関係を発見しようとする姿勢や、失敗しても試行錯誤を続ける粘り強さを身につけているか。				9
3 学 期	単元「第2章第2節 円の性質」 【知識及び技能】 ・円周角の定理を用いて角の大きさを求めたり、図形の性質を判断したりできる。 ・円の性質と図形の長さの関係を結びつけて扱う力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円周角の性質をもとに、証明問題などにおいて論理的に思考・説明する力を育てる。 ・複雑な図形の中から性質を見出し、規則を探究する意欲を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら角の関係を発見しようとする姿勢や、失敗しても試行錯誤を続ける粘り強さを育む。	整数の性質 ・整数の性質の活用 ・ユークリッドの互除法 ・約数と倍数	【知識及び技能】 ・円周角の定理を用いて角の大きさを求めたり、図形の性質を判断したりできているか。 ・円の性質と図形の長さの関係を結びつけて扱う力を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円周角の性質をもとに、証明問題などにおいて論理的に思考・説明する力を身につけているか。 ・複雑な図形の中から性質を見出し、規則を探究する意欲を持つことができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら角の関係を発見しようとする姿勢や、失敗しても試行錯誤を続ける粘り強さを身につけているか。				8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78